

2 助成対象のまちづくり活動を行ったふりかえり

申請書に記載の活動の「目的、目標、計画」に基づきふりかえりをご記入ください。

(1) 目標達成（目標を達成できたか、達成できなかったものがあればその理由）

■ 目標

名古屋市を、より多様な人が地縁組織と関わりながらまちづくりを行う都市にする

…メンバーは、地域を支える仕組みとなっている地縁組織の大切さを勉強会によって学び、それぞれの地域で地縁組織と関わるよう努力しながら取り組みました

(2) 活動の成果（参加者や地域住民の評価、活動を通して得られた成果など）

■ 成果

① BLUE BASE メンバーが地縁組織の役員となること

…来年度、中川区にて町内会長、西区にて子ども会学区会長、昭和区にて PTA 役員となるなど、地縁組織との関わりに目を向けて活動するメンバーが増えた

② 若い世代が地縁組織と関わるための入口をつくること

…BLUE BASE メンバーに加入することで、地縁組織との関わりを持ち始める人が増えたメンバー（20 名程度→現在 44 名）

…メンバーが各地で地縁組織と一緒に活動をする中で、それぞれの地域で地縁組織と一緒に活動する人が増えた

（中川区おやじの会の地元マルシェ出店、西区音楽祭の地域との関わり、西区にて子どもの見守り活動開始、西区にて駄菓子屋さん開催、西区にて地縁組織と繋がるグループの結成など）

③ より多くの人々が足元のまちとまちづくりに目を向け、一步を踏み出すこと

…メンバーの約半数は、「地域のために何かしたいけどどうしていいかわからない」と参加している人たちです。ミーティングに参加しながら学ぶことで、自分でできることを見つけたり、勇気をもって踏み出す準備をしたりしています。

(3) 活動における工夫（活動の目標達成のために工夫した点など）

① 勉強会では、それぞれの活動の中で良かったことなどをシェアし、課題と感じていることに関して意見を出し合いました。

各々の活動がどのようにすれはうまくいくのかについては、「いかに楽しくやるか」「分業化させるか」「見える化するか」といったことが主なポイントとなりました。

② BLUE BASE の活動自体をいかに楽しくするかということで、ミーティングの際には変顔で記念撮影をし、2月の報告&交流会では、変顔オブザイヤーの表彰式を行いました。

③ メンバーが一步踏み出しやすいよう、市内やそのほかの助成金やイベント情報を随時共有し合いました。

④ メンバー同士の交流を積極的に行い、別の団体への手伝いや、団体と団体のコラボも実現しました。（中川区の紙ヒコーキ大会への手伝い、中村区の音楽祭への出店など）

⑤ 勉強会では、時間が合わない人もアーカイブを見れるようにし、情報へのアクセスしやすさを工夫しました。

(4) 活動の改善点（課題や反省点と、それを踏まえ今後の改善などを具体的に）

BLUE BASE の活動は、人数が増えるほど地域の担い手が増え、地域活動を活性化させる事業です。また、若い世代をターゲットとしているため、HP や SNS 上での情報発信が重要な役目を果たします。

2022 年度ではメンバーは約 2 倍となりましたが、HP の更新が滞るなど、広報活動や報告に力を入れることができなかったという反省点があります。

2023 年度は広報活動に力を入れ、今年度いただいた助成金で修正した HP をベースに、月 2

回はブログを更新していきたいと考えます。
来年度末のメンバー数 100 人を目標に、地域の担い手を育成していきます。

(5) 次年度の活動計画（具体的な活動の見通しなど）

月 1 回のミーティングやゴミ拾いは続けながら、HP や SNS 上での発信に力を入れていきたいと考えます。
実際に活動していると、子ども会や PTA、町内会活動など、身近なところで、運営方法に悩んでいる人はたくさん居ます。そういった方にもヒントが伝えられるよう、ミーティング内容の共有などに力を入れていきたいと思えます。

(6) 活動を進めるうえで、助成事業について改善を望むこと

この一年間、とても親身に応援いただきましてありがとうございました。

改善を望む点としては、勉強会の開催方法についてお願いしたいです。勉強会やセミナーは魅力的な内容が多く参加したいと思っていたのですが、土日開催ですと、地域の活動やボランティアと重なっており、子育て中で家を空けられないメンバーも多く、参加しにくいと感じました。
オンライン参加や、日中以外の時間での開催、また、アーカイブ配信を視聴してのレポート提出など、ご検討いただけますと有り難いです。

※第 5 号様式は、2 ページにおさまるように記入してください。

※活動における実施した内容（写真やレポート、調査結果等）、経費にて作成した成果品（チラシ、冊子など配布物）を別添資料としてください。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする

まちづくり活動の実施記録

実施記録は1ページにおさまるように記入してください。

年	日付	活動項目	活動内容	参加者数や印刷物の発行部数等
2022	6/24	オンライン勉強会	自己紹介、守山区上志段味自治会の活動報告	10名
	7/22	オンライン勉強会	自己紹介、知多市おかあさんシンポジウム活動報告	8名
	9/30	オンライン勉強会	自己紹介、一宮市子育て応援団活動報告	8名
	11/25	オンライン勉強会	自己紹介、近況報告会	10名
	11/27	ゴミ拾い BBQ&交流会	ゴミ拾い、BBQ、交流会	13名
	12/23	ライン勉強会	自己紹介、近況報告会	6名
2023	1/27	オンライン勉強会	自己紹介、LGBT当事者の方のお話	11名
	2/5	オフライン活動報告&交流会	活動報告、変顔オブザイヤーの表彰、交流会	11名

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の決算書

1 支出

助成対象のまちづくり活動における支出をご記入ください。

費目 手引きの費目を参照	活動項目	領収書番号	金額 (円)
① 助成対象事業支出額			66,055
①の内訳	会議費	オンライン会議 9～2月（6ヵ月）分 $22,110 \div 12ヵ月 \times 6ヵ月$ $= 11,055$	① 11,055
	広告費	広報活動（HP修正費用）	② 55,000
まちづくり活動助成金（申請金額） ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目では10万円			50,000

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。